

平成30年度国立大学法人等施設整備費要求事業の評価概要

カテゴリー	要求事業	重点事業		
		評価	事業数	割合
(1) 安全・基盤 (対象事業) 耐震事業 基幹・環境整備 など	491件	S	239件	63%
		A	46件	12%
		B	85件	22%
		C	9件	2%
		小計	379件	

(2) 機能強化 (対象事業) 教育研究環境の改善 病院の再生整備	539件	S	136件	43%
		A	98件	31%
		B	61件	19%
		C	22件	7%
		小計	317件	

(参考)平成29年度評価

合計	1,030件	S	375件	54%	418件	54%
		A	144件	21%	137件	18%
		B	146件	21%	162件	21%
		C	31件	4%	52件	7%
		計	696件		769件	

割合は、小数点以下を四捨五入しているため、合計の計数が一致しない場合がある。

# 平成30年度事業評価における各評価項目の評価結果等について

## (1) 安全・基盤

(対象事業)  
耐震事業  
基幹・環境整備 など

## (2) 機能強化

(対象事業)  
教育研究環境の改善  
病院の再生整備

**A** 1. 安全安心な教育研究環境基盤の整備【4点満点】

**B** 2. 機能強化等への対応【4点満点】  
必要性 実績・持続発展性

**C** 3. サステナブルキャンパスの形成【3点満点】

環境対策工事項目数 or CO2削減量  
【2点満点】

環境対策工事項目数 or CO2削減量  
【2点満点】  
先導的モデル(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル  
の取組等)【1点満点】

**D** 4. 施設マネジメント【4点満点】

適正性、費用の妥当性  
【2点満点】

適正性、費用の妥当性【2点満点】  
仕組み・体制、クオリティ、スペース、  
コスト【2点満点】

**E** 1. キャンパスマスタープランに関する取組【+1、±0、-1点】  
基本方針の検討状況、整備方針の検討状況、活用方針の検討状況、  
実現に向けた取組の状況、キャンパスマスタープランの策定と実現を担う体制

**F** 2. 施設マネジメント等に関する取組【+1、±0、-1点】  
施設マネジメントの推進のための仕組みの構築、施設の有効活用、  
適切な維持管理、適正な事業執行

**A** [1. 安全安心な教育研究環境基盤の整備]  
a:586(84%) b:100(14%) c:10(2%)  
[H29年 a:426(82%) b:83(16%) c:8(2%)]

**B** [2. 機能強化等への対応]  
a:159(53%) b:124(42%) c:16(5%)  
[H29年 a:95(37%) b:139(55%) c:20(8%)]

**C** [3. サステナブルキャンパスの形成]  
環境対策工事項目数 or CO2削減量  
a:615(94%) b:19(3%) c:20(3%)  
[H29年 a:457(94%) b:19(4%) c:11(2%)]  
先導的モデル(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル  
の取組等)  
a:16(5%) c:283(95%)  
[H29年 a:7(3%) c:247(97%)]

**D** [4. 施設マネジメント]  
適正性、費用の妥当性  
a:362(52%) b:275(40%) c:59(8%)  
[H29年 a:236(46%) b:229(44%) c:52(10%)]  
仕組み・体制、クオリティ、スペース、コスト  
a:152(51%) b:111(37%) c:36(12%)  
[H29年 a:83(31%) b:(設定なし) c:182(69%)]

**E** [1. キャンパスマスタープランに関する取組]  
a:1(1%) b:40(44%) c:50(55%)  
[H29年は全てc評価。補正後は以下の通り。  
(補正後) 昨年 a:0(0%) b:68(75%) c:23(25%)]

**F** [2. 施設マネジメント等に関する取組]  
a:1(1%) b:90(99%) c:0(0%)  
[H29年 a:1(1%) b:88(99%) c:0(0%)]

(注) 上図のH29年度の評価数にH28年度評価Sを引き継いだものは含まないため、H29年とH30年のものでは事業総数の前提が異なる

個別評価

全体評価